

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□■ ————— 2009. 3. 3 Vol. 76 ■□

いつもお世話になっております。「いいテク・ニュース」第76号をお届け致します。

厳しい不況が続いておりますが、不況を吹き飛ばすビジネスの種となる情報を、今回もお届けしてまいります！

さて、今月号のメルマガでは、2009年4月度開催予定セミナー及び新規取り扱い書籍・調査資料のご案内を致しております。

今回お届けする4月度開催予定セミナーでは、排水や海水などに含まれているレアメタル等有価物を効率的・効果的に分離・回収・リサイクルするニーズが急速に高まっている中、注目を集める

『レアメタル等含有排水及び海水等からの
リチウム・ウラン等有価物の回収技術』

から、レアメタル等のリサイクル市場の現在と今後を探る

『レアメタル等のリサイクル市場の動向とビジネスチャンス』

更には、クリーンエネルギーへの期待が高まる中、導入が活発化している風力発電に焦点を当てた

『風力発電導入における事業採算性と技術展望』

といった資源・エネルギー関連の旬なをテーマをはじめ、幅広い分野のセミナーを取り揃えておりますので、どうぞ最後までお読み下さいませ。

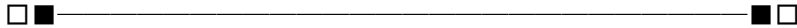
□■ ————— ■□

i n d e x

□■ ————— ■□

- ◇セミナー情報[2009年4月度開催予定セミナー/21件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報 (14タイトル)
- ◇新規取り扱い調査資料情報 (5タイトル)
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
- ◇E-mail変更・不要について
- ◇あしがき

□■ ————— ■□



弊社が主催・共催するセミナーを、日付順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■ 14日(火)-----

リチウムイオン電池・電気二重層キャパシタの比較・評価と
リチウムイオンキャパシタの開発動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20090407.htm>

■ 15日(水)-----

冷凍機の技術開発動向
～吸収式冷凍機、ターボ式冷凍機、スターリング冷凍機、
磁気冷凍機～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090403.htm>

脱水機の選び方・使い方
<http://www.tic-co.com/seminar/20090402.htm>

一次世代バイオマスエネルギーの可能性を秘めた！！～
微細藻類によるバイオ燃料生産システム構築と最新研究動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20090471.htm>

■ 16日(木)-----

～レアメタル等のリサイクルの今後を読み解く～
レアメタル等のリサイクル市場の動向とビジネスチャンス
<http://www.tic-co.com/seminar/20090424.htm>

～使用目的に合った～
インバータの選び方・使い方
～インバータの基礎・省エネ特性から適切な選定・導入法、
トラブル対策まで～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090412.htm>

■ 17日(金)-----

化学工場・プラント・施設における
危険性評価と爆発・火災防止対策
<http://www.tic-co.com/seminar/20090405.htm>

風力発電導入における事業採算性と技術展望
～法規制・助成制度から
地域特性に応じた導入計画のポイントまで～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090425.htm>

花王における研究開発戦略の実際

～様々な成功・失敗事例から学ぶ！

ディスカッションを通して解決策を見つける！～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090419.htm>

－簡単な演習で理解力アップ！！－

現場ですぐに役立つ生物工学の基礎と発酵プロセス制御手法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090472.htm>

■ 21日(火)-----

～専門外の方のための～

触媒の基礎知識

<http://www.tic-co.com/seminar/20090423.htm>

－技術者・研究者のための－

英語プレゼンテーション入門

～正しい準備のしかた、間違いやすい技術系英語表現、

質疑応答のテクニック～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090421.htm>

～大不況に負けないチームづくりのための～

チームの“やる気向上”の為のコミュニケーション実践講座

<http://www.tic-co.com/seminar/20090473.htm>

■ 22日(水)-----

空調システムの設計入門

<http://www.tic-co.com/seminar/20090418.htm>

レアメタル等含有排水及び海水等からのリチウム・ウラン等
有価物の回収技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20090401.htm>

－電池開発に必須の技術！！－

電気化学インピーダンスの基礎と等価回路を用いた解析法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090474.htm>

■ 23日(木)-----

～これだけは知っておきたい～

技術者の特許知識

<http://www.tic-co.com/seminar/20090422.htm>

～これだけは知っておきたい～

化審法・化管法の理解と改正動向および改正に伴う手続き対策

<http://www.tic-co.com/seminar/20090426.htm>

■ 24日(金)-----

～機械制御のための～

電気回路の故障診断とその対処法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090415.htm>

水処理用膜の開発動向と膜の選定・システム構築法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090409.htm>

－対策が急がれる！！－

企業における新型インフルエンザパンデミック対策のポイント

<http://www.tic-co.com/seminar/20090475.htm>

□ ■-----■ □

おすすめセミナーPick Up

□ ■-----■ □

今回のPick Upは

『 レアメタル等含有排水及び海水等からの
リチウム・ウラン等有価物の回収技術 』

セミナーです

2008年夏までの資源高は世界的な資源争奪の激しさを認識させるに十分だった。

世界景気の調整が終われば、いつ資源高に戻ってもおかしくない。その時に備え、有用資源を有効利用する機運が高まっている。

そのような状況の下、排水や海水などに含まれているレアメタル等有価物を効率的・効果的に分離・回収・リサイクルする技術に焦点を当て、排水中レアメタル等の回収・リサイクル技術の開発動向を始め、溶媒抽出法やキレート繊維による回収・リサイクル・分離濃縮技術、又、海水からのリチウム・ウラン等有価物の分離回収・捕集技術について、斯界の第一線でご活躍中の講師陣に詳しく解説頂きます。

●講 師 独立行政法人 産業技術総合研究所
環境管理技術研究部門 金属リサイクル研究グループ長
博士(工学) 田中幹也 氏

●講 師 明星大学 理工学部 環境システム学科 教授
博士(理学) 赤間美文 氏

●講 師 北九州市立大学 国際環境工学部
エネルギー循環化学科 教授
工学博士 吉塚和治 氏

●講 師 独立行政法人 日本原子力研究開発機構
量子ビーム応用研究部門
環境・産業応用研究開発ユニット
金属捕集・生分解性高分子研究グループ
研究主席・グループリーダー 玉田正男 氏

●日 時 2009年4月22日(水) 9:30~17:00

●会 場 東京・新お茶の水・総評会館 4F・401室

●受講料 49,980円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

●プログラム概要

- I. 排水中レアメタル等の回収・リサイクル技術の開発動向と
溶媒抽出法による回収・リサイクルの実際 (田中 氏)
- II. キレート繊維による水溶液試料からの重金属・レアメタルの
分離濃縮技術 (赤間 氏)
- III. 海水などの未利用資源からのレアメタルの
分離回収システムの開発
～リチウム回収を中心に～ (吉塚 氏)
- IV. 海水中のウラン及び温泉水中のスカンジウムScの捕集技術
(玉田 氏)

詳しい講義内容・お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにて
ご覧下さい。

<http://www.tic-co.com/seminar/20090401.htm>

□ ■ ————— ■ □
新規取り扱い書籍情報(14タイトル)

□ ■ ————— ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

----- 《 エレクトロニクス材料 》 -----

製品高付加価値化のためのエレクトロニクス材料
<http://www.tic-co.com/books/2009t665.htm>

自動車用センサの最新動向
<http://www.tic-co.com/books/2009t671.htm>

次世代光メモリとシステム技術

<http://www.tic-co.com/books/2009t672.htm>

分子エレクトロニクスの基盤技術と将来展望

<http://www.tic-co.com/books/2009t562.htm>

----- 《 ファインケミカル 》 -----

水性塗料技術開発の新展開

<http://www.tic-co.com/books/2009t673.htm>

----- 《 医薬品・先端医療技術 》 -----

核酸医薬の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2009t660.htm>

医薬品包装・容器の材料要求特性と3極局方の品質基準・試験法
～環境配慮・UD・包装規格・表示・海外最新情報～

<http://www.tic-co.com/books/09stp031.htm>

----- 《 エネルギー 》 -----

熱電変換技術ハンドブック

<http://www.tic-co.com/books/09nts218.htm>

リチウムイオン電池の高安全技術と材料

<http://www.tic-co.com/books/2009t652.htm>

石炭利用の最新技術と展望

<http://www.tic-co.com/books/2009t662.htm>

有機薄膜太陽電池の高効率化と耐久性向上

<http://www.tic-co.com/books/09sta033.htm>

クリーンディーゼル開発の要素技術動向

<http://www.tic-co.com/books/09nts217.htm>

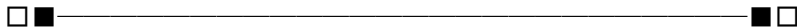
----- 《 新材料・新素材 》 -----

次世代共役ポリマーの超階層制御と革新機能

<http://www.tic-co.com/books/2009t655.htm>

感光性樹脂の評価

<http://www.tic-co.com/books/09sta031.htm>



新たにお取り扱い致します調査資料を、ご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

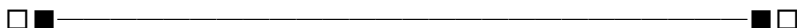
<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>
特許情報分析(パテントマップ)から見た
オリンパスとニコン分析
技術開発実態分析調査報告書
<http://www.tic-co.com/books/09ptt030.htm>

<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>
特許情報分析(パテントマップ)から見た
ソニー分析
技術開発実態分析調査報告書
<http://www.tic-co.com/books/09ptt029.htm>

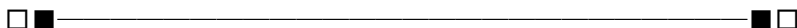
<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>
特許情報分析(パテントマップ)から見た
ガス業界16社分析
技術開発実態分析調査報告書
<http://www.tic-co.com/books/09ptt028.htm>

<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>
特許情報分析(パテントマップ)から見た
自動車ゴム製品12社分析
技術開発実態分析調査報告書
<http://www.tic-co.com/books/09ptt027.htm>

<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>
特許情報分析(パテントマップ)から見た
国内自動車メーカー12社分析
技術開発実態分析調査報告書
<http://www.tic-co.com/books/09ptt026.htm>



セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10



1月21日から2月20日までの約1ヶ月間のセミナー及び書籍の
Webページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★

第1位 『“熱発電技術”最前線』
(3月19日(木)開催) 437 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090301.htm>

第2位 『わかりやすい振動モード解析の実際』

(3月17日(火)開催) 392 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090307.htm>

第3位 『省エネ法・温対法の改正と企業担当者の対応策』
(3月13日(金)開催) 358 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090318.htm>

第4位 『配管設計の基本と押さえておきたい留意事項』
(3月11日(水)開催) 350 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090308.htm>

第5位 『過熱水蒸気の特徴・利用と応用展開』
(3月13日(金)開催) 333 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090325.htm>

第6位 『可視光反応型光触媒の開発と応用』
(3月19日(木)開催) 305 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090311.htm>

第7位 『バイオマスエネルギービジネスの市場動向と
ビジネスチャンス』 (3月10日(火)開催) 299 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090328.htm>

第8位 『植物環境制御技術』 (3月11日(水)開催) 298 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090331.htm>

第9位 『“CO₂の有効利用技術” 最前線』
(3月11日(水)開催) 284 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090323.htm>

第10位 『分散型電源の系統連系技術と系統連系における
コスト低減策』 (3月10日(火)開催) 265 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090319.htm>

今回の集計では『“熱電発電技術” 最前線』が第1位にランクイン。

本セミナーは、排熱や未利用熱等、熱エネルギーの有効利用技術として注目を集める熱電発電技術の原理・特徴を始め、利用・技術の動向、具体的なシステム・モジュールの開発と高効率化のポイント及び適用・事例紹介、又、材料の高性能化について、斯界の第一線でご活躍されている講師により詳しく解説される講義として注目を集めているようです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

第1位 『樹脂の硬化度・硬化挙動の測定と評価方法』 631 counts
<http://www.tic-co.com/books/07sta015.htm>

第2位 『レアメタルリサイクル市場の現状と今後の方向性』
549 counts

<http://www.tic-co.com/books/2006tv04.htm>

第3位 『リチウムイオン電池 この15年と未来技術』 402 counts

<http://www.tic-co.com/books/2009t650.htm>

第4位 『次世代自動車用リチウムイオン電池の材料開発』

359 counts

<http://www.tic-co.com/books/2008t641.htm>

第5位 『界面活性剤の選択方法と利用技術』

333 counts

<http://www.tic-co.com/books/07sta019.htm>

第6位 『帯電の測定方法と静電気障害対策』

318 counts

<http://www.tic-co.com/books/08sta030.htm>

第7位 『アグリフォトンクス』

300 counts

<http://www.tic-co.com/books/2008t612.htm>

第8位 『表面・深さ方向の分析方法』

287 counts

<http://www.tic-co.com/books/07sta016.htm>

第9位 『<<2006年版>> マイクロ・ナノバブル調査総覧』

285 counts

<http://www.tic-co.com/books/2006tv05.htm>

第10位 『ウェットエッチングのメカニズムと

処理パラメータの最適化』

244 counts

<http://www.tic-co.com/books/08sta025.htm>

今回の集計では、先月号の「新規取り扱い書籍情報」にてご案内させて頂きました『リチウムイオン電池 この15年と未来技術』が初登場第3位にランクイン。

本書は、リチウムイオン電池が従来のIT機器用電源という大きな市場の拡大に加え、ハイブリッド電気自動車HEV (Hybrid Electric Vehicle) や100%電気自動車BEV (Battery Electric Vehicle) 用の電源として、新たな展開が進んでいる現在、リチウムイオン電池の商品化から15年目の技術及び市場の変遷を総括し、今後の方向性とこれから必要とされる未来技術について詳説された書籍として注目を集めているようです。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■ _____ ■ □

E-mail変更・不要について

□ ■ _____ ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』
とご記入頂き、本文には、

- ★ 旧E-mailアドレス
- ★ 新E-mailアドレス

